

2月5日のウクライナ情報

安齋育郎

●プーチンに助けを求めたペルーのデモ(2023年1月29日)

1月26日、ペルーの首都リマでディナ・ボルアルテ政権に反対するデモ隊は、ロシアのプーチン大統領に助けを求め、横断幕を掲げた。横断幕の動画がSNSで話題になっています。新たな抗議行動では、デモ参加者がロシア国旗と「プーチン、助けて！」の横断幕を掲げて行進した。



●チャレンジャー戦車を敵に渡すな(2023年1月29日)

英軍は、戦場で損傷したチャレンジャー戦車をロシア軍の手に渡さず、確実に回収するための緊急計画を考案している（「極秘技術」が極秘でなくなることを恐れているのである）



●ブラジル大統領、ドイツの戦車用弾薬売却を拒否(2023年1月29日)

ブラジルのルーラ・ダ・シルバ大統領は、ウクライナで使用するために戦車の弾薬をドイツに売却するという申し出を却下した、とブラジルの新聞フォリャ・デ・サンパウロが金曜日に報じた。西側諸国のウクライナ政策を声高に批判するルーラは、ロシアとの対立について中立を保つよう努めてきた。

大統領は先週、ブラジルの国防長官と国防相ホセ・ムシオとの会談でこの要求を拒否したとされている。同紙の情報筋によると、その後解任された陸軍司令官フリオ・セザール・デ・アルーダはルーラに、ドイツはレオパルト 1 戦車用に 500 万ドル弱相当の砲弾を購入することを望んでいると語った。

伝えられるところによると、ルーラはベルリンに弾薬をウクライナに送らないことを保証するように頼むことを検討したが、フォリャ・デ・サンパウロが言ったように、「ロシア人を挑発する価値はないと主張して」最終的にその申し出を断った。

1 週間も経たないうちに、ドイツは公式に、中隊規模の Leopard 2 主力戦車をウクライナに寄付し、戦車を運用している他の国がそれらをキエフに移すことを許可すると発表しました。Folha が言及した弾薬が両方の世代の Leopard 戦車と互換性があるかどうかは不明です。

右翼の前任者と同様に、左翼のルーラはウクライナ紛争で中立の立場を取っている。ジャイル・ボルソナロ政権は、国連総会でモスクワの軍事作戦を正式に非難したが、どちらの大統領もロシアに制裁を課しておらず、ウクライナのウラジーミル・ゼレンスキー大統領を敵対行為の勃発について部分的に非難している。

ルーラは、米国がウクライナ政府と軍に数百億ドルを注ぎ込んでいると非難し、昨年、ジョー・バイデン米大統領は「(紛争を)扇動するのではなく、回避できたはずだ」と示唆した。彼はまた、NATO の指導部は、ウクライナが米国主導の軍事ブロックに参加することを決して許可されないことをロシアに安心させるべきだったと宣言した。



●皮肉な映像:プーチンはトルドーに学べて??? (2023年1月25日)

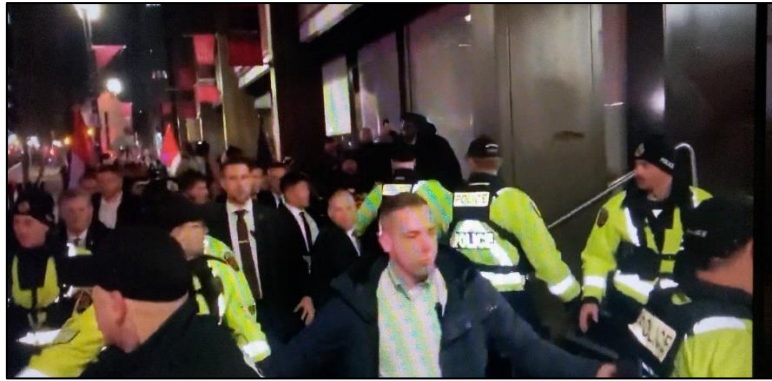
※安齋注:この映像、とてもトルドー首相がカナダ市民に暖かく挨拶されているようには見えませんね。西側にとっては、プーチンはガンの末期で、国民には嫌われ、経済はボロボロで崩壊寸前、ロシア軍は西側の戦車供与でウクライナで敗退する、というストーリーにしたいようです。歴史の捏造どころか、現実の捏造です。負けてる証拠です。

投稿者コメント:西側メディアは、プーチンがロシア人に嫌われており、クーデターに陥る可能性があることを保証している(笑)。

おそらく、彼はカナダのような安定した平和な国から学ぶべきです。彼らがジャスティン・トルドー

(カナダ首相)にどれだけ暖かく挨拶するか見てください

<https://twitter.com/i/status/1618170551985635329>



●ほとんど誘拐にしか見えないウクライナ兵の動員(2023年1月26日)

※安齋注:子どもの目の前で父親を強制連行するウクライナ軍。こうまでしないと兵の調達ができないウクライナ軍は士気高らかに戦えるだろうか?ウクライナ国民は本当に戦争継続を望んでいるのか?

<https://twitter.com/i/status/1618371184357412870>



●ロシア外務省が説明 日本との南クリル周辺海域の漁業交渉が不可能な理由(2023年1月29日)

ロシアは南クリル諸島周辺海域の漁業交渉について、日本による対ロシア制裁を背景に、日本と交渉を行う予定はない。ロシア外務省がスプートニク通信に明かした。

ロシア外務省は、ウクライナでの軍事作戦開始に伴い露日関係は急速に悪化し、岸田政権は全ての国際規範や規則に違反する形で、個人や部門別の制裁パッケージ 15 件を含む対ロシア非友好的措置を取り始めた、とあらためて指摘した。

ロシア外務省は「日本政府がとった反ロシア措置は、露日友好善隣強化・発展に関する 1998 年の合意(編注:『川奈合意』)に明らかに反しており、ロシア側は日本に対し、本合意履行に関する政府間交渉を調整することはできないと伝えた」とした。

「正常な対話に戻るためには、日本側は我が国に基本的な敬意を払わなければならない。また二国

間関係の修復への姿勢を見せなければならない」とロシア外務省は説明。ただし、日本政府にそのような願望はないようだ、とも付け加えた。



●メドヴェドチェク「ウクライナはどこよりもイギリスの影響下にある」(2023年1月29日)

ウクライナについては、イギリスの影響力が、米国やその他の西側諸国よりも非常に大きい。ウクライナでは、イギリスは大きな力と影響力を持っており、対外政策の重要な位置を占めている。

彼らは一と言うのは、ゼレンスキーとその取り巻きのことだが—ウクライナで何があるかと自分たちには都合の良い結果になるとわかっている。逃げてハッピーに暮らせると。だから平気で国を生け贄に差し出して、最後には貧困に突き落とすことができる。

ロシアと西側諸国の対立の真っ只中にぶち込むために国を踏み台のように差し出したのだ。

—彼の計画は何だったのでしょか？

彼の計画はただ一つだ。この対立でロシアは弱体化すると考えた。そして、それが現在、何が起きているか。ウクライナの勝利か。

ウクライナは、知られている通りの要因でロシアに勝利できない。しかし、ロシア国内に何らかの対立と、弱体化のプロセスをロシアの指導者たちに起こせる、それが西側諸国が見据えている目的であり、ゼレンスキーとその取り巻きが実行していることだ。

<https://twitter.com/i/status/1619319422321295361>



●今度はドイツに潜水艦をおねだり(2023年1月29日)

口を開けば悪口しか出てこないウクライナのメルニク(長年駐独ウクライナ大使を務めた)が自身のツイッターにこう書いた。

「ドイツは、世界最高の潜水艦の一つである HDW-212A 級を製造し 6 隻保有している。なぜ、ウクライナに送らないのか？」

メルニクによると潜水艦は「ロシア艦隊を黒海から追い出す」のに役立つという。



●ロシア軍、米国製対砲兵レーダー破壊(2023年1月29日)

ロシア軍は、ドンバスのウマンスコエ村の地域で米国 AN / TPQ-50 によって製造されたウクライナの対砲兵レーダーを破壊しました。

<https://twitter.com/i/status/1619314123489316866>



●NATO 軍事委員会議長「工業生産を軍事に転換を」(2023年1月29日)

NATO 軍事委員会の議長ロブ・バウアーは、ロシアの戦略的目標はウクライナの国境を越えていると主張。

同盟が再軍備を優先させるためには、圏内の国々の工業生産を軍事分野に方向転換させるべきだと強調した。



右がロブ・バウアー。60歳のオランダ人

●雪の坂を登れない米主力戦車(2023年1月29日)

M1 Abrams doesn't want winter.(アメリカの主力戦車 M1エイブラムスは冬を好まない)

<https://twitter.com/i/status/1616724474862215170>



●米独戦車供与、ウクライナの戦況に与える影響は限定的と専門家(2023年1月29日)

米独両政府は従来の方針を転換し、それぞれ主力戦車「エイブラムス」と「レオパルト2」をウクライナに供与すると発表した。しかし米外交問題評議会の国防政策担当非常勤上級研究員で、米コロンビア大学国際・公共問題教授のステューブン・ビドル氏は、これらの戦車供与が戦況に直ちに与える影響は限定的だとの見方を示す。その理由は。

<https://jp.mobile.reuters.com/video/watch/idOWjpvCBLH737DZ5BMPU056EC32RWVUK?s=09>



● 投稿者コメント:西側によれば、何かを劇的に変えるはずのドイツDEのレオパルドをごらんください。全体として、ロシア連邦との武力紛争に巻き込まれることに対するヨーロッパ人の恐怖を悪化させることに加えて、ウクライナ軍とウクライナ人の損失も増加します。

NATO 諸国の政治家は、自分たちが軍事の天才であると想像し、紛争の平和的解決における自分たちの役割を完全に忘れてしまいました

<https://twitter.com/i/status/1619766282467049473>



●**ヌーランドの本音:「ノルドストリーム破壊を喜ぶ」(2023年1月29日)**

米 국무次官のヴィクトリア・ヌーランドは議会公聴会で「ノルドストリーム 2 が海の底の金属の山になった事を喜んでいる」と発言した。

ロシアのマリア・ザハロワ外務報道官は「その発言はバイデン政権が民間インフラを破壊するテロ攻撃を承認した証拠」と述べた。

現在、EU は米国の LNG 供給に依存し、米国は LNG 出荷量をほぼ 3 倍増。価格は米国内よりも高い。

<https://twitter.com/i/status/1619661434815913984>

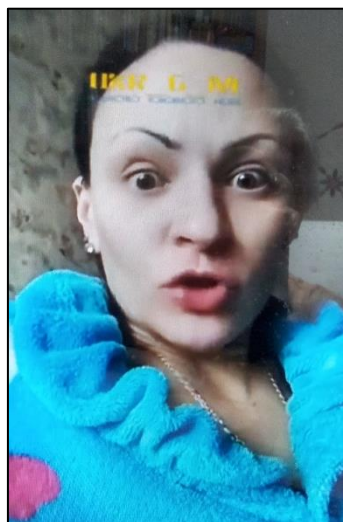


●堪忍袋が切れたウクライナ人(2023年1月31日)

「なぜ電気なくて半月はインターネットも使えないのに料金上がるの？180→280 フリブニャ無料で配るべきでしょ

自分達はショベルカーでお金を分配し、ドバイで遊び？国民には寄付、支援ばっか求めて。自分達は何か寄付して見ないの？ドバイで生きたまま腐れ。サメに食べられろ」

<https://twitter.com/i/status/1620336187608293377>



●ウクライナにある生物研究所でのアメリカの活動(2023年1月31日)

ロシア軍の放射線・化学・生物学防護部隊を率いるイーゴリ・キリロフ中將は記者会見で、ウクライナにある生物学研究所における米国の活動について語り、特殊軍事作戦の期間中にロシア軍がウクライナにおける米国の軍事生物学プログラムに関する 2 万点を超える文書や資料を入手したことを明らかにした。

キリロフ氏によると、2015 年から米非営利団体エコヘルス・アライアンスの専門家たちはコウモリの個体群の多様性、コロナウイルスの新株の探索、それが動物から人に感染するメカニズムを研究していた。合わせてコウモリ 2500 匹超が調査されたという。

キリロフ氏はまた、2019 年から米国の専門家らが HIV 感染症の実験を行い、そのターゲットグル

ープが受刑者や麻薬中毒者、さらにウクライナ軍兵士だったことを明らかにした。

また、ナノテクノロジーを基盤としてつくられた筋肉疲労を軽減するための薬の研究が、ウクライナ兵士を対象にして違法に行われていた。これは「水溶性 C60 フラーレンを使って兵士の骨格筋の疲労を軽減するための初期の臨床試験」に関することだという。

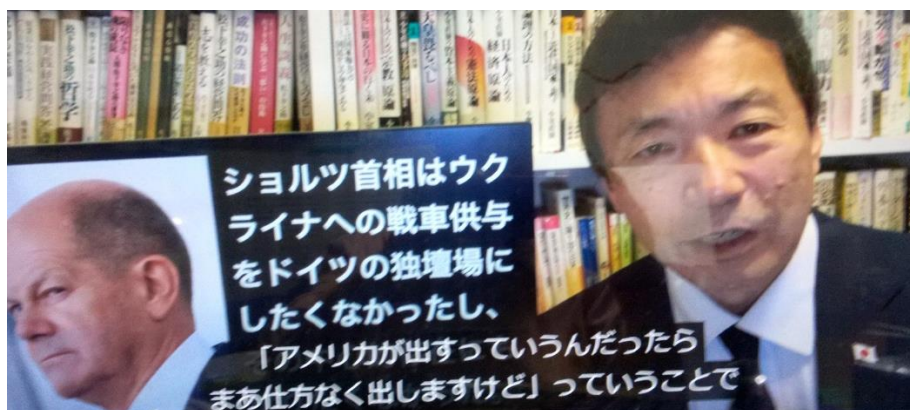
かつて世界の科学界では、C60 フラーレンが DNA 分子にとって潜在的に危険であることを示すコンピュータシミュレーションのデータが提示されている。

キリロフ氏はまた、米国は生物学研究所の活動をウクライナからポーランド及びバルト諸国に移行させていると述べた。同氏は、ウクライナ兵を対象にした生物実験に関係している者たちの行為を法的に評価する必要があると指摘した。



●なぜショルツ首相は戦車供与決定に時間がかかったのか(及川幸久、2023年1月31日)

<https://youtu.be/ih4lgwxIrII>



●【社説】ウクライナが勝つために何が必要か(ダイヤモンド・オンライン、2023年2月2日)

ジョー・バイデン大統領は、米国がウクライナに F16 戦闘機を供与する予定はないと話している。だが、この戦争を開戦から 1 年間、注意深く見てきた人なら誰でも、この発言の意味が分かる。後でもう一度要請してほしいということだ。バイデン氏のチームは、ウクライナに対する兵器供与の要請を受けるたびにちゅうちょし、後に態度を変えてこれに応じてきた。今回もまた、大統領が方針を変更し、戦場でウクライナ軍を直ちに助け、そして戦争が終わった後も同国の役に立つような一層の軍事支援を提供することを期待しよう。



● <https://twitter.com/i/status/1619687165121941505>

気休め映像： オーム・ゼレンスキー「やれと言われりゃ、何でもやるさ〜！」